

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	レーベン小田原 THE TOWER	階数	地上17F 地下1F
建設地	神奈川県小田原市城山一丁目566-1	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	580人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	病院集合住宅、工場、等	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年4月 予定	評価の実施日	2024年4月4日
敷地面積	2,676㎡	作成者	株式会社三輪設計
建築面積	1,743㎡	確認日	2024年4月4日
延床面積	24,325㎡	確認者	株式会社三輪設計



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (46 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 81%

③上記+②以外の 81%

④上記+ 81%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	神奈川県小田原市に建設される複合用途建築物である。建築外皮の断熱性能を高めるとともに高効率な設備機器を採用し、運用上の効率的なエネルギー利用に配慮している。	
その他		
Q1 室内環境	・ほぼ全面的にF☆☆☆☆の建材を使用し、室内の良好な空気質環境の確保を図っている。	Q2 サービス性能
Q2 サービス性能	・耐用年数の長い外装材・内装材を採用し、建物の耐用性の向上に配慮している。	Q3 室外環境(敷地内)
Q3 室外環境(敷地内)		
LR1 エネルギー	・高効率な設備機器を採用し、エネルギーの効率的利用に配慮している。	LR2 資源・マテリアル
LR2 資源・マテリアル	・LGSの採用により躯体と仕上材の分離が容易であり、解体時におけるリサイクルを促進させる対策がある。	LR3 敷地外環境
LR3 敷地外環境	・周囲への漏れ光に配慮した屋外照明計画としている。 ・駐車場の確保や出入りのしやすい駐車場計画により、交通渋滞緩和に配慮している。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される